

同 司 田 盛 芳
 祭 本 田 盛 芳

御 奏

讃美歌 110番 (今更に)

主の祈り

交読詩編 100篇 1〜5節 (10代版)

聖 書 11月11日の聖書から

五番 1〜8節 (新3代版)

祈 禱

讃美歌 110番 (今更に)

信仰告白 (改定版)

説 教 「たまたま」

祈 禱

本 田 盛 芳

主の祈り (主の祈り)

今週の誕生祭から

讃美歌 110番 (今更に)

献 金 11月11日

頌 栄 11月11日 (たまたま)

祝 禱

後 奏

… 聖 句 …

神の恵みと愛を信じて、
 主の御名を賛美する。

先週の説教より

「罪から救いへ」

創世記3章1節-15節

神のようになりたいと思って禁断の木の实を食べた二人に起こったことは、「自分たちが裸であることを知った」ことでした。今まで神の方を向いていた視線が自分の方を向くと、自分の汚れが見え、その汚れを隠そうとした。その瞬間から人間は神から身を隠すようになった、そこに人間の罪の姿があると創世記は語ります。

禁断の木の实を食べた人に対し、神は呼びかけられます「あなたはどこにいるのか」(9節)。人間は神からの呼びかけによって神に背く自分の姿を認識します。自分のパートナーを「あの女」と呼び自分の罪の責任をなすりつけ、さらにはそこを超えて「あなたがあの女を与えた」と責任を神にまでゆだねています。女は責任を蛇に押し付け、さらには「蛇を造ったのはあなたではないか」という神への責めも含まれています。神の戒めを破った、禁断の木の实を食べた、そのことに罪の本質があるのではなく、罪を認めようとせず、自己弁解し、他者に責任を押し付けようとした、さらには神に責任を押し付けようとした、そこに罪の本質があると物語は語っています。

神を信じる人とそうでない人は何が違うのでしょうか。共に罪を犯します。神を信じる人は罪を犯した時、「あなたはどこにいるのか」と神に問われ、裁かれ、苦しみます。その苦しみを通して神の憐れみが与えられ、また立ち上がることが出来ます。神を信じることの出来ない人々は犯した罪を隠そうとします。「私が悪いのではない」と言い逃れをするために、罪が罪として明らかにされず、裁きが為されません。裁きがないから償いがなく、償いがないから赦しがなく、赦しがないから平安がない。罪からの救いの第一歩は、罪人に下される神の裁きなのです。「私は罪を犯しました」と悔改めた時、神の祝福が始まります。

(村山盛芳牧師)

週 報

日本キリスト教団

みなみやま

南 山 教 会

<年間聖句>

「それから、イエスは言われた。『全世界に行って、すべての造られたものに、福音を宣べ伝えなさい』(マルコによる福音書16章15節)

<年主題>

一人がひとりを教会へ



Since 1947. 8. 1. 創立72周年

〒470-0111

愛知県日進市米野木町南山983-16
 (愛知牧場内)

牧 師 村山盛芳

伝道師 本間優太

TEL 0561-73-6781 FAX 0561-76-3005

教会メールアドレス minamiyama@mb.ccnw.ne.jp

HP www.mb.ccnw.ne.jp/minamiyama/